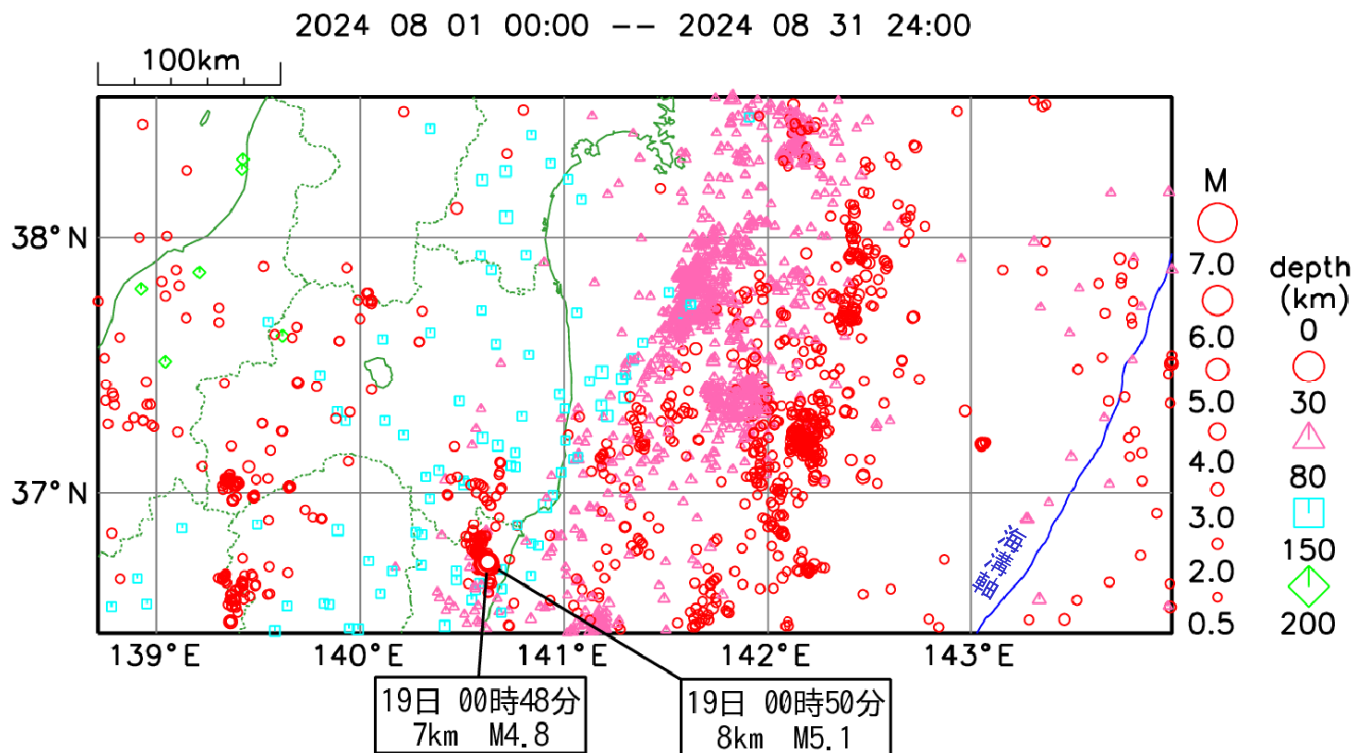


福島県月間地震概況

2024年（令和6年）8月

福島地方気象台

【震央分布図】



吹き出しをつけた地震は概況で取り上げたものである。

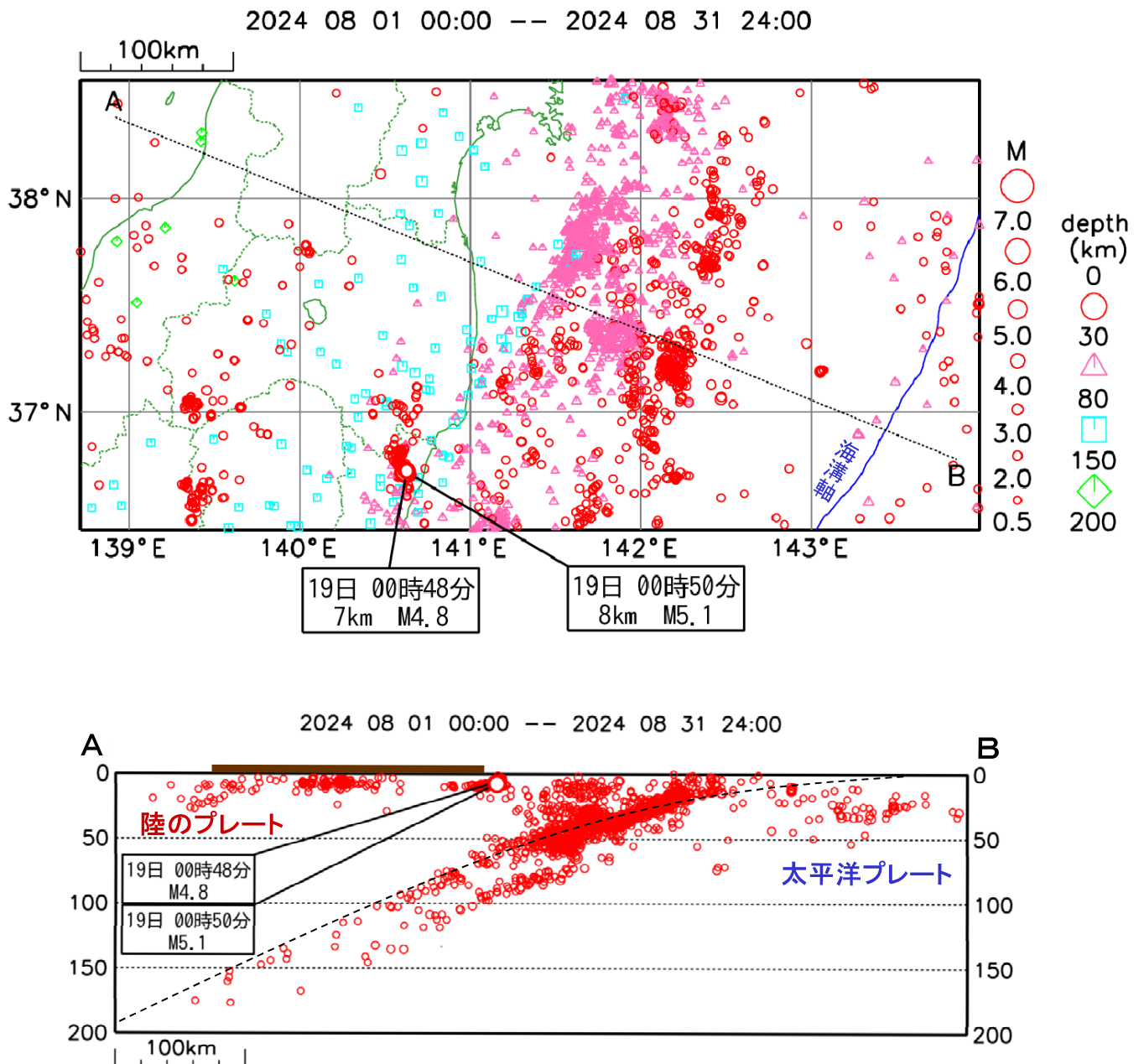
【概況】

8月に福島県内で震度3以上を観測した地震は1回（7月：2回）であった。また、福島県内で震度1以上を観測した地震は15回（7月：20回）であった。

19日00時48分に茨城県北部の深さ7kmでM4.8の地震が発生し、茨城県で震度4を観測したほか、東北地方と関東地方で震度3～1を観測した。その2分後の00時50分にほぼ同じ場所の深さ8kmでM5.1の地震が発生し、茨城県で震度5弱を観測したほか、東北地方、関東地方、及び新潟県で震度4～1を観測した。福島県では、白河市、古殿町、玉川村で震度3を観測したほか、広い範囲で震度2～1を観測した。これらの地震は地殻内で発生した。

震度1以上を観測した地震における震度の詳細については、「福島県で震度1以上を観測した地震の表」を参照のこと。なお、震源要素等は、再調査により変更することがある。

【震央分布図（上）および断面図（下）】



断面図は、上の震央分布図内の震源を直線A-Bの鉛直面に投影したものである。
 太平洋プレートの上面の位置(-----)は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。
 ——— は、陸地の大まかな位置を示している。
 海溝軸付近から沖合の地震の震源は深さの精度が十分でないものも含まれており、実際は浅いところ
 (深さ10km~30km)のものが多いと考えられる。

福島県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2024年 8 月 1 日～2024年 8 月31日

発 震 時	震 央 地 名	北 緯	東 経	深 さ	規 模
各地の震度					
2024年08月01日23時51分	福島県沖	37° 10.7' N	142° 11.1' E	20km	M4.5
福島県	震度 1	：福島市花園町 郡山市湖南町＊ 白河市新白河＊ 大玉村南小屋 天栄村下松本＊ 田村市滝根町＊ 相馬市中村＊ 大熊町野上＊ 大熊町大川原＊ 浪江町幾世橋 飯舘村伊丹沢＊ 南相馬市原町区高見町＊			
2024年08月06日08時05分	福島県会津	36° 58.2' N	139° 22.5' E	4km	M2.4
福島県	震度 1	：檜枝岐村上河原＊			
2024年08月08日00時17分	福島県会津	37° 06.1' N	139° 27.1' E	8km	M2.2
福島県	震度 1	：檜枝岐村上河原＊			
2024年08月09日17時32分	福島県会津	37° 02.2' N	139° 21.3' E	7km	M1.7
福島県	震度 1	：檜枝岐村上河原＊			
2024年08月11日09時38分	福島県沖	37° 42.9' N	141° 43.0' E	64km	M4.3
福島県	震度 2	：相馬市中村＊ 新地町谷地小屋＊			
	震度 1	：福島市花園町 郡山市朝日 白河市新白河＊ 須賀川市八幡山＊ 二本松市油井＊ 国見町藤田＊ 川俣町五百田＊ 鏡石町不時沼＊ 天栄村下松本＊ 棚倉町棚倉中居野 石川町長久保＊ 玉川村小高＊ 浅川町浅川＊ 小野町中通＊ 小野町小野新町＊ 田村市船引町 田村市大越町＊ 田村市常葉町＊ 田村市都路町＊ 田村市滝根町＊ 福島伊達市梁川町＊ 福島伊達市保原町＊ 福島伊達市霊山町＊ 福島伊達市月舘町＊ いわき市三和町 いわき市平四ツ波＊ 福島広野町下北迫大谷地原＊ 檜葉町北田＊ 富岡町本岡＊ 川内村下川内 川内村上川内小山平＊ 川内村上川内早渡＊ 大熊町野上＊ 大熊町大川原＊ 双葉町長塚＊ 浪江町幾世橋 葛尾村落合落合＊ 飯舘村伊丹沢＊ 南相馬市原町区三島町 南相馬市鹿島区柗窪 南相馬市原町区高見町＊ 南相馬市鹿島区西町＊			
2024年08月12日21時50分	福島県沖	37° 07.9' N	141° 03.9' E	54km	M3.5
福島県	震度 1	：白河市郭内 白河市新白河＊ 棚倉町棚倉中居野 玉川村小高＊ 浅川町浅川＊ 小野町中通＊ 田村市船引町 いわき市三和町 檜葉町北田＊ 川内村下川内 大熊町大川原＊			
2024年08月17日09時33分	宮城県沖	38° 32.0' N	141° 49.6' E	49km	M4.6
福島県	震度 2	：相馬市中村＊			
	震度 1	：福島市花園町 福島市桜木町＊ 福島市五老内町＊ 須賀川市八幡山＊ 二本松市油井＊ 二本松市針道＊ 国見町藤田＊ 川俣町五百田＊ 天栄村下松本＊ 玉川村小高＊ 小野町中通＊ 小野町小野新町＊ 田村市船引町 田村市大越町＊ 田村市常葉町＊ 田村市都路町＊ 田村市滝根町＊ 福島伊達市梁川町＊ 福島伊達市保原町＊ 福島伊達市霊山町＊ 本宮市本宮＊ いわき市三和町 檜葉町北田＊ 大熊町大川原＊ 双葉町長塚＊ 浪江町幾世橋 新地町谷地小屋＊ 飯舘村伊丹沢＊ 南相馬市原町区三島町 南相馬市鹿島区柗窪 南相馬市原町区高見町＊ 南相馬市鹿島区西町＊			
2024年08月17日13時37分	福島県会津	36° 59.1' N	139° 28.6' E	8km	M2.0
福島県	震度 1	：檜枝岐村上河原＊			
2024年08月18日23時10分	福島県沖	37° 42.7' N	141° 35.8' E	82km	M3.5
福島県	震度 1	：いわき市三和町			
2024年08月19日00時48分	茨城県北部	36° 43.4' N	140° 37.5' E	7km	M4.8
福島県	震度 2	：郡山市湖南町＊ 白河市東＊ 白河市表郷＊ 須賀川市八幡山＊ 国見町藤田＊ 鏡石町不時沼＊ 矢祭町戸塚＊ 石川町長久保＊ 玉川村小高＊ 浅川町浅川＊ 古殿町松川新桑原＊ 田村市滝根町＊ いわき市錦町＊ いわき市平梅本＊ 双葉町長塚＊			

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
震度 1	福島市花園町 福島市桜木町＊ 福島市飯野町＊ 福島市五老内町＊ 郡山市朝日 郡山市開成＊ 白河市郭内 白河市新白河＊ 白河市大信＊ 須賀川市岩瀬支所＊ 須賀川市八幡町＊ 二本松市金色＊ 二本松市油井＊ 二本松市針道＊ 桑折町谷地＊ 川俣町五百田＊ 大玉村南小屋 大玉村玉井＊ 天栄村下松本＊ 天栄村湯本支所＊ 西郷村熊倉＊ 泉崎村泉崎＊ 矢吹町一本木＊ 棚倉町棚倉中居野 棚倉町棚倉館ヶ丘＊ 矢祭町東館＊ 塙町塙＊ 鮫川村赤坂中野＊ 平田村永田＊ 古殿町松川横川 小野町中通＊ 小野町小野新町＊ 田村市船引町 田村市大越町＊ 田村市常葉町＊ 田村市都路町＊ 福島伊達市前川原＊ 福島伊達市梁川町＊ 福島伊達市霊山町＊ 本宮市本宮＊ 本宮市白岩＊ いわき市小名浜 いわき市三和町 いわき市平四ツ波＊ 相馬市中村＊ 福島広野町下北迫大谷地原＊ 福島広野町下北迫苗代替＊ 檜葉町北田＊ 富岡町本岡＊ 川内村下川内 川内村上川内小山平＊ 川内村上川内早渡＊ 大熊町野上＊ 大熊町大川原＊ 浪江町幾世橋 葛尾村落合落合＊ 飯館村伊丹沢＊ 南相馬市原町区三島町 南相馬市鹿島区柗窪 南相馬市原町区高見町＊ 南相馬市鹿島区西町＊ 南相馬市小高区＊ 北塩原村北山＊ 南会津町田島				
2024年08月19日00時50分 茨城県北部		36° 43.0' N	140° 37.2' E	8km	M5.1
福島県	震度 3	白河市郭内 白河市新白河＊ 白河市表郷＊ 玉川村小高＊ 古殿町松川新桑原＊			
	震度 2	福島市花園町 福島市五老内町＊ 郡山市朝日 郡山市開成＊ 郡山市湖南町＊ 白河市東＊ 白河市大信＊ 須賀川市八幡山＊ 須賀川市長沼支所＊ 須賀川市岩瀬支所＊ 須賀川市八幡町＊ 二本松市油井＊ 二本松市針道＊ 桑折町谷地＊ 国見町藤田＊ 川俣町五百田＊ 大玉村南小屋 鏡石町不時沼＊ 天栄村下松本＊ 天栄村湯本支所＊ 西郷村熊倉＊ 泉崎村泉崎＊ 中島村滑津＊ 矢吹町一本木＊ 棚倉町棚倉中居野 矢祭町戸塚＊ 矢祭町東館＊ 塙町塙＊ 石川町長久保＊ 平田村永田＊ 浅川町浅川＊ 古殿町松川横川 小野町中通＊ 田村市船引町 田村市大越町＊ 田村市常葉町＊ 田村市都路町＊ 田村市滝根町＊ 福島伊達市前川原＊ 福島伊達市霊山町＊ 本宮市本宮＊ 本宮市白岩＊ いわき市小名浜 いわき市三和町 いわき市錦町＊ いわき市平梅本＊ 相馬市中村＊ 福島広野町下北迫大谷地原＊ 福島広野町下北迫苗代替＊ 檜葉町北田＊ 川内村上川内小山平＊ 川内村上川内早渡＊ 大熊町野上＊ 大熊町大川原＊ 双葉町長塚＊ 浪江町幾世橋 葛尾村落合落合＊ 新地町谷地小屋＊ 飯館村伊丹沢＊ 南相馬市鹿島区西町＊ 南相馬市小高区＊ 会津若松市追手町＊ 北塩原村北山＊ 会津美里町新鶴庁舎＊			
	震度 1	福島市桜木町＊ 福島市飯野町＊ 白河市八幡小路＊ 二本松市金色＊ 二本松市小浜＊ 大玉村玉井＊ 棚倉町棚倉館ヶ丘＊ 鮫川村赤坂中野＊ 三春町大町＊ 小野町小野新町＊ 福島伊達市梁川町＊ 福島伊達市保原町＊ 福島伊達市月館町＊ いわき市平四ツ波＊ 富岡町本岡＊ 川内村下川内 南相馬市原町区三島町 南相馬市鹿島区柗窪 南相馬市原町区高見町＊ 南相馬市原町区本町＊ 会津若松市材木町 会津若松市北会津町＊ 喜多方市松山町＊ 喜多方市熱塩加納町＊ 喜多方市高郷町＊ 喜多方市御清水＊ 喜多方市塩川町＊ 下郷町高陸＊ 下郷町塩生＊ 檜枝岐村上河原＊ 只見町黒谷＊ 西会津町登世島＊ 磐梯町磐梯＊ 猪苗代町城南 会津坂下町市中三番甲＊ 湯川村清水田＊ 会津美里町本郷庁舎＊ 南会津町田島 南会津町界＊ 南会津町滝原＊			
2024年08月23日10時14分 福島県会津		37° 16.3' N	139° 31.2' E	7km	M1.9
福島県	震度 2	南会津町界＊			
2024年08月23日10時21分 福島県会津		37° 25.9' N	139° 41.6' E	4km	M2.1
福島県	震度 1	柳津町大成沢			
2024年08月28日19時52分 福島県会津		36° 58.2' N	139° 22.3' E	3km	M1.5
福島県	震度 1	檜枝岐村上河原＊			
2024年08月30日18時30分 福島県沖		37° 49.9' N	141° 36.4' E	50km	M3.9
福島県	震度 1	田村市船引町 田村市常葉町＊ 大熊町大川原＊ 双葉町長塚＊ 浪江町幾世橋 南相馬市鹿島区西町＊			

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

各地の震度は福島県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

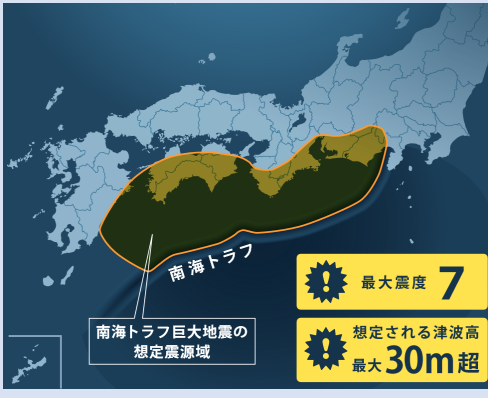
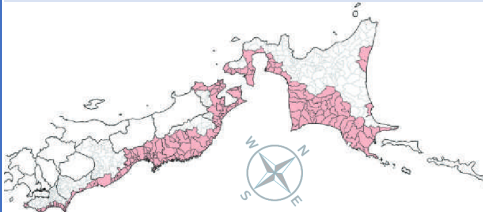
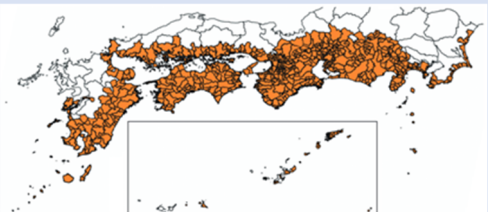
北海道・三陸沖後発地震注意情報 と南海トラフ地震臨時情報

気象庁は、2024年8月8日19時15分に南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を初めて発表しました。この発表を受けて、南海トラフ地震防災対策推進地域では、日頃からの地震への備えの再確認や、地震が発生した際にすぐに避難できる準備などが呼びかけられました。この呼びかけは、北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表された際の呼びかけと同じです。そこで、南海トラフ地震臨時情報と比較しながら、あらためて、北海道・三陸沖後発地震注意情報について解説します。

想定される巨大地震と防災対応が必要な地域

南海トラフ地震臨時情報が対象としている地震は、南海トラフ地震という東海地方から九州にかけての太平洋側の沖合での発生が予想されている巨大地震です。対して、北海道・三陸沖後発地震注意情報が対象としている地震は、三陸沖から北海道の太平洋側の沖合（日本海溝・千島海溝沿い）での発生が予想されている巨大地震です（表1）。いずれの地震も、強い揺れと巨大な津波により、甚大な被害が想定されています。そして、この被害を少しでも軽減するための情報として、北海道・三陸沖後発地震注意情報や南海トラフ地震臨時情報が運用されています。

表1 北海道・三陸沖後発地震注意情報と南海トラフ地震臨時情報が対象としている想定地震

	北海道・三陸沖後発地震注意情報	南海トラフ地震臨時情報
想定する最大クラスの地震の規模	Mw9.3（千島海溝モデル） Mw9.1（日本海溝モデル）	Mw9.1
想定震源域・ 想定最大震度・ 想定津波高など		
被害想定（最大）	死者・行方不明者 約199,000人	死者・行方不明者 約323,000人
防災対応が 必要な地域		

- ※ 地震の想定等は、内閣府中防災会議により南海トラフ地震防災対策、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策のために行われた検討会・ワーキンググループ等の報告による。
- ※ 被害想定（最大）は、それぞれの地震の被害想定に関する報告の中で、最悪のケースとされている数値を記載。
- ※ Mw：モーメントマグニチュード（地震波形全体を詳細に解析することで得られるマグニチュードで断層の面積と断層すべり量の積に比例する。物理的な意味が明確で、M8.0を超える地震に対しても適切な値を求められるという特徴がある。）

北海道・三陸沖後発地震注意情報と南海トラフ地震臨時情報の違い

北海道・三陸沖後発地震注意情報も南海トラフ地震臨時情報も、巨大地震の発生可能性が高まっていることをお知らせする情報であるという点では同じです。しかし、南海トラフ地震臨時情報は、状況によって呼びかける内容が異なることから、それに応じたキーワードを付して発表するのに対して、北海道・三陸沖後発地震注意情報にはキーワードは無く、発表された際に呼びかける内容は固定となっているという大きな違いがあります（表2）。

表2 北海道・三陸沖後発地震注意情報と南海トラフ地震臨時情報の発表条件と呼びかけ内容

情報名（キーワード）	発表条件	呼びかけ内容
北海道・三陸沖後発地震注意情報	想定震源域及びその周辺でMw7.0以上の地震が発生	- 日頃からの備えの再確認 - すぐに避難できる態勢の準備
南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）	- 想定震源域及びその周辺でMw7.0以上の地震が発生（南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）に該当する場合を除く）したと評価 - 想定震源域内のプレート境界面において、通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価	- 日頃からの備えの再確認 - すぐに避難できる態勢の準備
南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）	想定震源域内のプレート境界でMw8.0以上の地震が発生したと評価	- 事前避難 - 日頃からの備えの再確認 - すぐに避難できる態勢の準備
南海トラフ地震臨時情報（調査中）	南海トラフ沿いの大規模な地震と関連する可能性がある現象や地震を観測し、臨時に「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」を開催	なし
南海トラフ地震臨時情報（調査終了）	「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」により、観測された現象が（巨大地震警戒）、（巨大地震注意）の発表条件に当てはまらないと評価	なし

北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表されたときは何をすればよい？

情報が発表されて、防災対応が呼びかけられている間（発表から1週間程度）、通常どおりの生活（学校に行ったり、仕事をしたり）を送りつつ、普段より巨大地震の発生に注意し、**日頃からの地震への備えの再確認、すぐに避難できる態勢の準備などを行ってください。**

日頃からの地震への備えの具体例としては、水や食料の備蓄や簡易トイレ、防寒具などの避難生活に必要なものの再確認、避難場所・避難経路や家族との連絡手段の再確認、家具の固定や高い場所にある物の転倒・落下防止対策の再確認などがあります（図1）。



図1 日頃からの地震への備え（リーフレット「日本海溝・千島海湖沿いの巨大地震」より）

また、すぐに避難できる準備の具体例としては、避難情報を確実に取得できるようにしておく（スマートフォンや防災無線受信機等の音量アップなど）、スマートフォン等の情報を取得できる機器の予備バッテリーの準備、屋内の安全な場所での生活（がけに近い部屋から離れるなど）、非常持ち出し品の常時携帯（就寝時でもすぐに持ち出せるように準備）、すぐに逃げられる服装での就寝などがあります（図2）。



図2 北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表されたときの防災対応
(リーフレット「日本海溝・千島海湖沿いの巨大地震」より)

なお、北海道・三陸沖後発地震注意情報や南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されているからといって、防災対応が必要な地域（情報の対象地域）への旅行や出張を中止しなければならない、というわけではありません。普段より巨大地震発生の可能性が高まっているとはいえ、発表期間である地震発生後1週間以内に巨大地震が発生する確率は100回に1回程度^{注1}です。ただし、緊急情報の取得態勢の確保に加えて、訪問先の市区町村からのお知らせや交通状況、宿泊先や施設等の営業状況を事前に確認し、適切な行動を心がけるようにしてください。

注1 世界の大規模地震のデータより、過去100年程度の間（1904～2017年）に発生したMw7.0以上の地震1,477回のうち、発生後7日以内に、その地震が発生した場所から500km以内の領域でMw7.8以上の地震が発生したのは17回であり、発生頻度は100回に1回程度である。なお、最初の地震がMw8.0以上の場合は104事例で、そのうち9事例でMw7.8以上の地震が発生している。

日頃からの地震の備えを忘れずに！

北海道・三陸沖後発地震注意情報の発表期間である1週間以内に、大きな被害を伴うような大地震は発生しないことがほとんどです。たとえ、情報発表時に地震が起こらなかったとしても、「空振り」と捉えるのではなく、防災意識の向上につなげる「素振り」（＝良い練習ができた）と捉えましょう。また、何の前触れもなく巨大地震が発生する場合があります。**突発的に大きな地震が発生した場合に備えて、日頃から地震への備えを徹底しましょう。**そのうえで、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表された時には、その備えを再確認するようにしましょう。

（本件に関する問い合わせ先：福島地方気象台 024-534-0321）